



上野 揆一さん(91)
みつ子さん(89)
迫町・山の内
1947年2月入籍

夫婦でお神楽踊んのつしや

★結婚当時の思い出は

【揆一】戦争で中国に出兵し、一緒に行った同級生全員が亡くなり、つらい思い出をしていました。そんなときに、仲人の紹介で一緒になったんだで。【みつ子】戦後でもない頃で、食べるものがなくて大変だったねえ。ご飯に、ダイコンやサツマイモを入れて食べてたおねえ。

★印象深い出来事は

【揆一】仲人を32組務めたことだな。農業しながら、仕出し屋でおふるめの司会をやったこともあって、よく頼まれだねえ。【みつ子】宮崎県さ旅行さ行ったときにいった砂風呂が忘れねえ。

★現在の楽しみは

【揆一】お神楽を踊ったり、謡を歌ったりするのが楽しいね。そいっつちや、北方小の子どもたちさ、鳥舞を教えさ行ぐのがおもしろいね。子どもたちが元氣貫つてだで。

【みつ子】おいとこやおじいさんの謡でお神楽踊るのが楽しいだねえ。

★夫婦円満のコツは

【揆一】よめことしねえで、やんべくせ語る。【みつ子】さつとけんかするぐれえでちようどいいね。そんで、すぐに元さ戻つこと。

★やりたいこと

【2人】ずつと元氣で、一緒にお神楽どおいとこやりでえね。孫だちに負けらいいねで。

おらほの道の駅

道の駅米山
「ふる里センターY・Y」



▲大粒でさわやかな甘さが人気の「もういっこ」

好評なイチゴまつりを開催

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一郎駅長にお話を伺いました。道の駅米山で、これから開催するイベントなどを教えてください。本年度5回目を迎える「イチゴまつり」は2月20、21日の2日間、開催します。期間中は、当道の駅メーンの品種「もういっこ」とちおとめを、通常より多く入荷してお待ちしています。この時期のイチゴは大変好評ですので、お早めにお買い求めください。また、先着100人の皆さんに、串に刺したイチゴにチョコレール

ふるさとから発信される情報が楽しみ

今年の南方町人会総会および懇親会は2015年10月25日に、上野東天紅本店で盛会に開催されました。

私は1958年3月に東京都墨田区で就職しました。その翌年の8月3日、関東地区南方村人会設立総会が東京都大田区民会館で開催されました。これが、南方町人会の始まりです。当時、南方村狼掛出身で北辰電機株式会社現横河電機）取締役を務めた千葉秋雄氏が初代村人会会長です。64年4月1日、南方村が町制施行し、会も村人会から町人会となり、本年度で発足から57年を迎えます。

小野寺 正彦さん(73)

登米市在京町人会連絡協議会役員、関東地区宮城県南方町人会南方町(柳沢)出身



95年6月に、観光バスで一泊二日のふるさと訪問を開催。多くの会員が参加し、ふるさと南方で懐かしいひとときを過ごしました。その後、09年6月にもふるさと訪問ツアーを開催し、38人の会員が参加しました。その際には、布施市長はじめ、南方町の行政区長や婦人会など、多くの皆さんに、おもてなしいただきました。2日目は、登米市内の観光地を見学。登米高等尋常小学校や石ノ森章太郎ふるさと記念館などを見学し帰京しました。情報化社会となった今日。毎月送ってもらっている「広報とめ」は、登米市9町の話題が盛り沢山に掲載されており、毎月楽しみに拝読しています。また、パソコン・スマホ・タブレットの時代で、登米市の情報はツイッターでは「おいでよ登米市」「ユーチューブ動画では「東北風土マラソン」「恋するフォーチュンクッキー登米市」「米川水かぶり」「畑岡神楽」などを見て楽しんでいきます。フェイスブックでは、登米市のいろいろなことを拝見しています。これからは登米市からの各種情報の発信を楽しみにしながら、登米市と市民皆さまの益々の発展をお祈り申し上げます。

トを付けた「チョコイチゴ」を無料で配ります。こちらは大変人気があるので、お早めに来場しご賞味ください。Qイチゴまつり期間中、ほかにもイベントを準備していると聞きましたが。昨年からは始めた「つるしびな」を2月20日から3月3日までお休み処に展示します。今年も、当道の駅オリジナルのイチゴやハクサイ、丸山権太左衛門などの大型つるしびなを準備しています。愛好会の皆さんが手間隙をかけて作った力作ですので、皆さんぜひご覧ください。



↑小さな権太左衛門もお待ちしております

また、米山町出身の陶芸家、熊谷由香さんの作品展をイチゴまつりと同時開催します。沖繩の伝統工芸士国場一氏に弟子入りし、技術を学んだ熊谷さんの作品は、この辺ではあまり見られない味のあるものばかり。こちらにもぜひ足を運んでください。

【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」
☎0220(55)2747

まちの文芸
短歌

作品募集!
3月号は俳句川柳です。住所・氏名電話番号を記入し、1月29日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

こつこつと励む気持ちを前向きに
仲間の絆なお癒やされて
六十路越え幸せ願うは福寿草
そつとふくらみほほほ笑みかける
早いもの師走の月の忙しさに
先立ち気持ちから動きぬ
その母の好みと云う曲なれば
宗家の舞踊は心にしまふ
門ごとに残る木守りの柿の実に
夕日差しぐみ冬に入る里

菅原たろ子(迫)
沼倉いね子(中田)
本宮やつの(中田)
熊谷タヘ子(中田)
熊谷たかよ(中田)

小雪舞い餌場めざすか雁の群
被災者の心いくばくに
車椅子押しつつ乗り込むエレベーター
若者待ちて長押しくるる
惚けたくないそんな思いで喜寿も過ぎ
またも忘れてなやむ此の頃
木の葉舞うグラウンド交流球も飛ぶ
景品横目におにぎりバクリ
霜月の吾が誕生日北海道で
学ぶ孫娘より祝いの電話

佐藤 禮子(米山)
佐々木康子(米山)
阿部ふみ子(米山)
佐藤ヒサ子(米山)
佐藤よしの(石越)